

開催テーマ

「青函圏における縄文の価値と魅力 ～ポストコロナに向けた交流の再起動～」

青函圏域に共通する重要な財産である「縄文遺跡群」やそれを活かした地域活性化や交流促進の取組に焦点を当て、青函圏の魅力・価値を再確認し、ポストコロナを見据えた圏域内外の交流の再起動に活かしていくことを目的に、標記フォーラムを開催します。

※幅広く周知を図ることに加えて、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、動画サイトを通じて配信する形式としました。

公開日 令和5年**3月28日**（火）

公開先 下記URLに動画を公開します。

<https://www.youtube.com/channel/UCxAa1uXVnlczmK-QyPFAIRw>



<プログラム内容等>

■ 基調講演

「青函圏の縄文遺跡群の魅力」

三内丸山遺跡センター 所長 岡田 康博氏

弘前市生まれ。弘前大学卒業後、青森県内の遺跡発掘に従事し、1992年から三内丸山遺跡担当。文化庁文化財調査官、青森県世界文化遺産登録推進室室長を経て、令和4年4月より現職。著書・論文多数。

□ 事例発表

「2022 津軽海峡圏縄文ウェルネス博」

一般社団法人かなぎ元気村 代表理事 伊藤 一弘氏

旧金木町生まれ。太宰文学や津軽三味線等郷土の魅力を深掘りしたまちづくりを推進し、2012年よりヘルスツーリズムに目を向け、津軽半島の自然や生活文化を体験する多様なプログラムを開発。2018年より現職。

□ 事例発表

「汐泊川カヌー体験と縄文」

HAKODATE ADVENTURE TOUR 代表 中田 弥幸氏

函館市生まれ。野外救急法の国際基準のライセンスを有する北海道知事認定のアウトドアガイド。道南エリアで唯一の川下りカヌー観光を提供する会社の代表として、令和2年より地域の環境保全と活性化に取り組んでいる。

